

「ミナミ活性化協議会」第3回代表者会議議事録

1 会議日時

平成19年11月30日（金）午後6時から午後6時30分までの間

2 会議場所

道頓堀リンデンビル4階映像ホール

3 出席者

大阪府副知事（山登敏男）、大阪市長（關淳一）、大阪府警察本部長（縄田修）、ミナミ歓楽街環境浄化推進協議会会長（岡本敏嗣）、ミナミ歓楽街環境浄化推進協議会発起人（福長徳治）、社団法人関西経済連合会都市再生委員会副委員長（坂井信也）、大阪商工会議所都市再生委員長（錢高一善）、社団法人関西経済同友会代表幹事（小嶋淳司）

4 意見交換要旨

○ ミナミ歓楽街環境浄化推進協議会会長

平成17年2月にミナミ歓楽街環境浄化推進協議会を設立した当時のミナミは、風俗環境をはじめ非常に環境の悪化を招いていた。その大きな要因の一つが悪質な客引きであり、また、卑わいな看板を掲げた風俗案内所やはみ出し看板などの問題が山積し、「このままではミナミが大変なことになる」という危機感から、地元商店会、振興町会などが力を合わせて立ち上がり、ミナミ歓楽街環境浄化推進協議会を設立した。

地元の主な取組みについては、毎月のミナミ縦横断パトロールによる啓発活動、連絡会の開催による警察・行政との情報交換、商店会等によるはみ出し看板の自主規制、アメリカ村における落書き消去活動などであるが、最初は無理だと思っていたことが、みんなでやろうという強い意志で取り組んだところ実現でき、我々地元の自信にも繋がってきた。

また、地元の取組みと合わせて、警察による取締りの強化などにより、ミナミを取り巻く環境は改善されたと言えるが、まだまだ課題があり、ここで手を抜くわけにはいかないと実感している。

現状の問題としては、第1に風俗環境問題、第2に放置自転車問題の2点に集約される。

第1の風俗環境問題については、風俗案内所は微増傾向にあり、空き店舗が出れば風俗案内所に変わる現状で、大きく派手な看板や風俗案内所前にタムロする従業員は、地元の人や通行する人に不安感を与えている。また、形を変えた客引きや、泥酔した女性客と路上で戯れるホストが大変目立ってきていることも、新たな問題となっている。

第2の放置自転車問題はなかなか難しい問題であり、今年2月には、地元の総力を挙げて3日間の迷惑駐輪禁止キャンペーンを実施したが、効果は一時だけであり、根本的な解決には至っていない。

そこで今後の課題として、まず風俗環境問題に関しては、違法な風俗店等を街から

追い出すことが必要であり、違法店が無くなることに伴って風俗案内所や客引きも大きく減少するはずだと考える。現在、南署を中心に取締りを強化していただいているが、今後とも、徹底した取締りを願うとともに、警察が違法店を摘発した後に、同様の店が入らないように、地元としても力を合わせて取り組んでいきたいと考えているので、警察以外でも行政権限を行使した環境浄化対策を講じていただければ心強い限りである。

また、放置自転車問題に関しては、今年6月に大阪商工会議所、大阪国道事務所、大阪市、警察、地元で「ミナミ自転車問題対策協議会」を設立した。モデル調査などを通じ、従業員など自転車利用者の実態把握を行い、放置自転車問題の根本的な解決に向けて検討したいと考えている。今後は地元と協働した行政の計画的な取り組みも期待する。

これまでの取り組みにより、ミナミの環境はようやくマイナスからゼロの状態になってきたところ。これからは、地元としても街の活性化に向け、地区計画やテナントリーシングを行いながら、ミナミの様々な資源を生かしたまちづくりを行っていきたいと考えている。行政・経済界にも支援していただければありがたい限りである。

○ 大阪府警察本部長

府警における歓楽街総合対策については、平成17年2月にミナミ地区を推進重点地区に指定し、ミナミの環境浄化を推進してきた。当初の一番の問題であった客引きについては、のべ300名以上検挙し、外見上は改善されてきたと認識している。また、ホストクラブについては、かなりの数の無許可営業店があったが、今年1月以降に集中的な取締りを行い、法にのっとって営業する形（許可店）にはしている。

これまで、地域の皆さん方と情報交換をしながら、南署を中心に、組織を挙げた検挙活動を続け、それなりの成果が上がったと認識しているが、これは地域の皆さん方と、合同パトロール、キャンペーン活動等を行ってきた連携の成果であり、今後とも続けていきたいと思っている。

はみ出し看板の自主規制については、大変難しい問題を地域の皆さん方が心を一つにされて取り組まれているということを感じた次第である。

しかしながら、風俗案内所については、客引きを行ったり、中学生を雇い風俗店で働かせるなどの違法行為を行う悪質なものも見られ、ホストクラブについても、ナンパを装った手口で客引き行為を行っているということも十分認識している。検挙もしているが、こういった点についても警察として強力に対応していかなければならないと考えている。

さらに、ファッションヘルスについても、違法な店は検挙する。これは警察にしかできないことであり、しっかりと体制をとり、摘発していきたいと考えている。体制については、強化することはあっても、手を抜くことは今後もない。歓楽街総合対策については、来年も府警の重点課題として取り組んでいく方針である。

また来年にはミナミ地区に防犯カメラを設置する予定であり、犯罪の抑止あるいは風俗環境の浄化という面で貢献できると考えている。

引き続き、地域の皆さん方と連携しながらしっかり対応していきたいと考えている。

○ 大阪府副知事

ミナミの環境浄化の問題については、警察はもとより、岡本会長、福長発起人をはじめ本日ご参加の商店街の皆さんの取組みにより、ミナミが良い方向に変わりつつあると私自身も実感している。しかしながら、新たな課題も出てきているということで、これにもきちんと対応していくことが大事であると考えている。

大阪府では平成18年2月に青少年健全育成条例を改正し、府警と合同でゲームセンターなどの夜間立入制限店舗やインターネットカフェの一斉立入などを実施している。

また、商店街への防犯カメラの設置助成や、今年度中に府警において整備予定のミナミ地区への街頭防犯カメラなどの防犯整備も進めている。

ミナミは西日本最大の繁華街であり、様々な資源が備わった地域である。この資源を生かすために、府としても環境浄化に積極的に取り組んでいきたい。

○ 大阪市長

大阪市内は面積が狭く、坂がほとんどないフラットな地形であり、非常に自転車を使いやすい環境にある一方、放置自転車問題が大きな課題となっていることは大阪市としても十分認識している。

2月末に地元の皆さんが立ち上がり、総力を上げて迷惑駐輪追放キャンペーンを実現されたことは、非常に力強い。

放置自転車問題の解決には、駐輪スペースの確保は必要不可欠であり、大阪市としては来年度、千日前通りと長堀通りに、既設も含め約1,000台分の駐輪場の整備を予定している。

また、様々なアンケート調査のデータによると、従業員や買物客の放置自転車の実態が浮かび上がり、これは行政だけでは解決が困難な問題であるため、経済団体、警察、地元の皆さんと協力しながら、自転車利用者のマナー向上なども含め取り組んでいかなければならないと考えている。

今後とも放置自転車問題の抜本的な解決を念頭に置きながら、具体的にできることから一つ一つ皆さんと協力してやっていきたい。

○ 大阪商工会議所都市再生委員長

大阪商工会議所としては、大きく2点の取組みを行っている。

まず1点目は、要望活動であり、この3月に、關市長に対し駐輪機の増設や撤去活動の強化、放置禁止区域の拡大などを含めた11項目にのぼる要望をさせていただいた。

自転車問題に対する大阪市の取組みと今後の対策については、先ほど關市長から発言があった通り、本所の要望事項に対しても回答をいただき、駐輪場の増設については千日前通り、長堀通りにおける約1,000台の駐輪機の増設を予定しており、また撤去活動の強化等についても、新たに設置した委員会で検討するなど、前向きに検討し、取り組んでいただいていることを確認させていただいたことは、大変うれしかぎりである。大阪商工会議所としても、こうした要望の実現に向け、経済団体とし

での役目、役割を果たしていきたいと思っている。

次いで2点目であるが、このミナミにおける取組みとして、岡本会長の発言にもあった通り、6月にミナミ歓楽街環境浄化推進協議会そして大阪市、大阪府警察、大阪国道事務所と大阪商工会議所の5者で「ミナミ自転車問題対策協議会」を立ち上げた。以降、同協議会で具体的な自転車対策について検討を重ねた結果、12月上旬から、「ミナミの放置自転車の3割とも5割とも言われる従業員の自転車」を対象とした社会実験を実施することとなっている。

自転車は、排ガスによる環境汚染もなく、非常に利便性が高いなど良い面もたくさんあるわけで、いかにして自転車と共生していくかということ、ミナミ自転車問題対策協議会の場で検討していきたい。

○ 関西経済連合会都市再生委員会副委員長

まちの賑わいは地域の安全・安心を基本として成り立つものである。ミナミを賑わいあるまちにしていくためには、ミナミの環境が改善され、放置自転車問題などが総合的に解決に向かっていくことが不可欠であり、地元・行政の皆様方を中心とした日々の地道な活動はとても重要である。

また、安心して楽しい時間を過ごしたいと思うお客様と、お客様に良質のサービスを提供したいと思う店舗が出会う場所に、健全なまちの賑わいが起こるものと思っている。この協議会の活動を通じて、ここミナミの地において、「安全・安心」というキーワードでお客様と店舗が結ばれば、ミナミへの来客と出店が相互に加速され、まち全体に一層の賑わいをもたらされるだろう。

また、文化の香り高いところには人が集い、良質の賑わいが生まれる。ミナミは食文化のまちであり、若者文化の情報発信基地でもある。ミナミのまちに賑わいをもたらすためには、この文化資源を活用し、地域のブランド力を高めていく必要がある。

また、2009年の春には、阪神西大阪線が、西九条から難波まで延伸し、阪神・近鉄が相互直通運転を行う予定である。完成の暁には、神戸・大阪・奈良を結ぶ広域的な鉄道ネットワークが形成され、このミナミの地にも新たなお客様の流れが起こり、まちの賑わいが一層高まることを期待している。

また引続き、本協議会の活動を通じて、地道に取り組んでおられる地域・行政の皆さんの取組みを応援し、「文化発信拠点としてのミナミ」「安全・安心な街ミナミ」を積極的にPRすることにより、賑わいあるまちづくり、大阪のブランド力向上に取り組んでいきたい。

○ 関西経済同友会代表幹事

私はミナミの一員であり、当事者の一人として、ミナミの大切さを皆様と共に確認しておきたい。

私が印象に残っているのは、岡本さんと共に「ミナミを何とかしなければならない」と言って最初に立ち上がった時のことである。当時は皆がまとまっていくために相当なエネルギーが必要であったが、今は街の人たちが自分たちでエネルギーを出して盛り上がっていき、これがミナミの街を浄化して行こうという継続した取組みに繋がっ

ている。これは大変素晴らしい。

関西経済同友会も、活性化協議会立ち上げのころから時の代表幹事が関わっていた。そういう点においても、活性化協議会には縁を感じる。

同友会は純粋な「ミナミ」ではないが、その団体を含めてなぜ皆がミナミに力を入れているのかを今一度確認したい。ミナミは大阪の顔であり、大阪を訪れる人の多くがミナミに来る。一方、関空第2滑走路ができ、空港の利便性が高まった。また、来年は北京オリンピックに伴って大阪への入り込み客もあるだろう。大阪には、今後、海外からの来客がますます増える。その人たちの多くはミナミを訪れるわけである。ミナミの来訪者に本当の意味でミナミを楽しんでいただくことが、大阪全体にとっても大きな関心事である。

海外からのお客様を含めて、ミナミを訪れる人々が安全で、安心して本当のミナミを楽しめるように、例えば食の安全をアピールできるようにするとか、さらには困ったときに相談できるような観光案内所を整備する、といったことなどに地道に取り組んでいかなければならない。

今後とも官民連携した取組みにより一つ一つ問題を解決し、将来、振り返ってみたら、「こんな良い街になっていたんだ」ということを互いに確認し合えるような、地道な運動になればいいと考えている。

5 共同アピールの採択

全会一致で共同アピールを採択した。

第3回 ミナミ活性化協議会代表者会議 共同アピール

われわれ、ミナミ活性化協議会は、平成17年からミナミの活性化を目指して全力で取り組んできた。その成果として、路上にたむろしていたカラス族と呼ばれる客引きが減少するなどミナミを取り巻く環境は改善に向けて前進し、街に明るさが戻りつつある。

しかし、未だ存在する違法な風俗店や風俗案内所等は、街の健全な環境を悪化させているとして、地元やミナミを訪れる人に、不安感を抱かせている状況にある。

また、放置自転車問題については、地元が中心となり迷惑駐輪追放キャンペーンを実施したものの、根本的な改善には至らず、依然として、ミナミの環境悪化を招き、活性化への阻害となっている。

一方、ミナミを独自の文化の香り高い魅力ある街とするためには、これらの問題に対する取組みに加え、今後は、賑わいあるまちづくりに向けた本格的な取組みも進めていく必要がある。

われわれは、2年前に表明した共同アピールを更に発展させ、当面次の3点を特に掲げて、強力に前進することで一致した。

①「ミナミの環境浄化」に向けて

- 「違法な店に貸さない、使わせない、認めない」を合言葉に、公民が協働した街ぐるみによる監視体制の強化
- 違法な風俗店や風俗案内所等に対する取締りの徹底

②「放置自転車問題の解決」に向けて

- 放置自転車がミナミの活性化への阻害となっているという共通認識のもと、自転車の適正利用の実現を目指した一体となった取組みの推進

③「賑わいあるまちづくり」に向けて

- ミナミ固有の文化や地域資源を継承し、健全で魅力ある街の景観にふさわしい店舗が連なる、賑わいあるまちづくりに向けた取組みの推進
- 安心して歩き集える道路環境の整備

平成19年11月30日

ミナミ活性化協議会

大阪府知事

大阪市長

大阪府警察本部長

ミナミ歓楽街環境浄化推進協議会会長

ミナミ歓楽街環境浄化推進協議会発起人

社団法人関西経済連合会会長

大阪商工会議所会頭

社団法人関西経済同友会代表幹事

太田 房江

關 淳一

縄田 修

岡本 敏嗣

福長 徳治

下妻 博

野村 明雄

小嶋 淳司